

1940-50年代のアメリカにおける建築系雑誌からみる Gregory Ainの住宅設計に対する考えとその特徴

日大生産工 ○亀井 靖子 日大生産工 曾根 陽子

1 はじめに

本報告では、既発表^{文1)}で対象としたMar Vista Tract^{注1)}の設計者Gregory Ainについて、Ainに関する建築系雑誌等の資料をもとにその住宅設計に対する考えと特徴を報告する。本研究はAinが目指した住宅を知るための手がかりとなると考える。

2 調査概要

資料収集は2004年から2005年にかけて行った。対象はAinが独立した1936年から、ペンシルバニア州立大学建築学科の学科長になる^{注2)}前の1960年までとし、1997年のGregory Ainの展覧会時に作成されたDavid Gebhardらによるカタログ「The Architecture of Gregory Ain -The Play Between the Rational and High Art-^{文2)}」とMyra L. Frank & Associates, Inc. によるロサンゼルス市の歴史的保存地区指定のための調査報告書「Gregory Ain Vita Tract^{文3)}」を基に文献リストを作成した。さらにインターネット上で「Mar Vista」「Gregory Ain」をキーワードにヒットするものも拾い上げ、最終的に雑誌・新聞等資料119件のリストを作成、うち62件(52.1%)を集めることができた。

2-1 全資料(119件)の調査方法

資料は書物、論文を含まない雑誌・新聞等刊行物である。資料リストにはタイトル、発行年、出版社等が含まれている。建築系雑誌と大衆誌の区分は図書館や学会での扱いに習い、判定できないものについては大衆向け住宅雑誌とした。さらに資料の内容については、タイトルを手がかりに「個人住宅」「住戸計画」「集合住宅」「オフィス等」「その他」に分類した。「個人住宅」は特定の施主のために設計された住宅、「住戸計画」はMar Vista Tractをはじめとする建売住宅、MoMAの展示住宅^{注3)}、プロジェクト等の住戸のプロトタイプ^{注4)}の提案である。「集合住宅」はDunsmuir Flats^{注4)}やAvenel Housing^{注5)}等である。「オフィス等」はオフィスやホールなど住宅以外の建物全般である。その他、コンペのコメントやAinに関するもの、タイトルから判定できないものはすべて「その他」に含めた。

2-2 収集資料(62件)の調査

掲載されている写真・図をその内容で外観、室内、平面図など11項目に分類しカウントした。さらにメインの写真・図の内容についても分類した。メインの判定が難しい場合は記事のトップに載っているものをメインとした。

3 調査結果

3-1 全資料(119件)について

リスト119件のうち建築系雑誌が61件(51.3%)、大衆誌が58件(48.7%)であった。図1がその内訳である。大衆誌Los Angeles Times(新聞)での掲載が19件(16%)と多く、次いで建築系雑誌Arts and Architecture17件(14.3%)となっている。また、大衆向け住宅雑誌の割合も12件(10%)と多かった。このように資料は大衆誌の割合が高く、無視できないと考え、大衆誌と建築系雑誌を区別せずに分析を行った。

図2は資料の作品項目別内容構成と1936-60年に作られたAin作品65件の項目別内容構成を示している。作品の項目別内容構成はDavid Gebhardらのカタログから作成した。資料では個人住宅が57/119件(47.9%)と一番多く、次いで住戸計画が20/119件(16.8%)であった。作品では個人住宅が一番多く39/65件(60%)であった。作品のその他には住宅の増改築なども含まれている。資料と作品の項目別内容数を比較すると、住戸計画の作品数が3と少ないにもかかわらず、その資料は20と非常に多い。Ainの住戸計画が注目されていたことが分かる。また集合住宅の資料も作品数に比して多い。これらから、Ainは住宅の一般解の設計で評価されていたと考えられる。

図3は作品の竣工年と資料発行年の関係を、図4は発行年ごとの資料の項目別内容を示す。Ainの作品は1939年と1948年が共に9件で一番多く、次いでその前後に当たる1938年と1950年が5件となっている。また、1960年も同じく5件となっており、約10年ごとに作品数の山が見られる。資料の発行年は、1940年が20件、1950年が17件で作品発表の多かった

Concepts and Characteristics of A Housing Plan by Gregory Ain Reading from American Architectural Magazines in 1940's - 50's

Yasuko KAMEI and Yoko SONE

年の後に大きな山ができています。しかし、1940年と1950年ではその内容の占める割合は大きく異なる。1940年では個人住宅に関するものが14/20件（70%）であるが1950年では9/17件^{注5)}がMoMAの展示住宅についてである。資料の発行年も作品と同じように1940年と1950年に2つの山があるが前の山は個人住宅を、後の山は住戸計画を主に扱っており、時代と共にAin設計の住宅への評価と人々の関心が個人住宅から住戸計画へと移り変わってきていることが分かる。

133-2 収集資料62件について

図3が示すように、収集資料62件は全資料119件とほぼ同じような年別割合で資料を収集することができた。1947年については収集資料が若干少ない。

図5は収集資料に掲載されている写真と図を項目ごとに数えたものである。外観が77件で一番多く、次いでリビング57件、平面図43件、裏庭34件と続く。室内についてはリビングが多かったものの、他の部屋は少なかった。メインの写真・図面では外観が23件で一番多い。メイン写真を詳しく見てみると、外観や裏庭の写真はリビング側を写したものが多い。外観では8/23件、裏庭に関しては7/7件でリビング側を撮ったものであった。一方リビングでも4/6件で裏庭と一緒に写っており、内部空間と外部空間の連続性が強調されている。外部に開かれた空間は狭い室内を広く感じさせ、小さな住宅を設計することが多かったAinにとっては特に有効的であった。

<参考文献>

- 1) 亀井靖子他：Gregory Ainの住戸計画が住戸の長寿命化に果たした役割—ロサンゼルス市の戸建建売住宅・団地Mar Vista Tractに関する研究—、日本建築学会計画系論文集、第609号、pp9-16、2006年
- 2) David Gebhard 他：The Architecture of Gregory Ain - The Play Between the Rational and High Art-, Hennessy + Ingalls, 1997
- 3) Myra L. Frank & Associates, Inc. : Gregory Ain Vita Tract (Mar Vista Housing) Historic Preservation Overlay Zone Historic Survey, City of Los Angeles Department of City Planning, 2002
- 4) 亀井靖子、曾根陽子：アメリカ第2世代、Gregory Ainの作品に関するヒアリング調査、日本大学生産工学部第37回学術講演会、pp369-372、2004年12月

<注>

- 1) MarVista Tractは1948年に分譲されたロサンゼルス郊外の建売住宅である。当初102戸で計画されたが、実際に分譲されたのは52戸のみであった。
- 2) 1963年にペンシルバニア州立大学建築学科の学科長になった。
- 3) 1950年に建てられたMoMAの展示住宅はMar Vista Tractを基に設計された。
- 4) Dunsuir Flatsは1937年にロサンゼルスに建てられた4住戸からなる2階建ての集合住宅である。Ainの代表作の一つである。
- 5) Avenel Housingはロサンゼルス市のSilver Lakeに建てられた10戸の住戸の入った集合住宅。Mar Vista Tractの住戸平面と同じ平面計画を持つ。
- 6) 9件中2件は資料がないので、確実ではないが、タイトルと年代から察するとMoMAの展示住宅である可能性が高い。

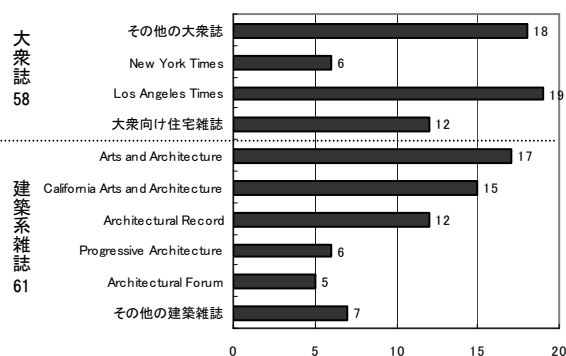


図1 全資料の出展分類 (n=119)

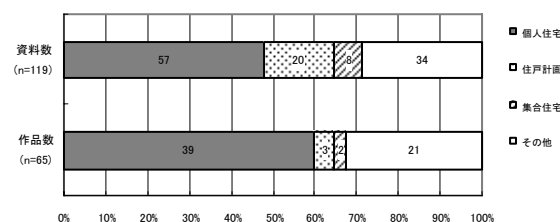


図2 資料の作品項目別内容構成 (上)
1936-60年のAin作品の項目別内容構成 (下)

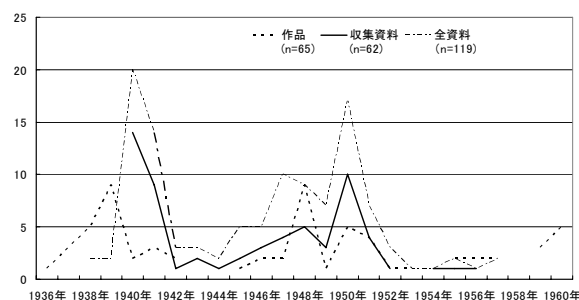


図3 作品の竣工年と資料発行年の関係

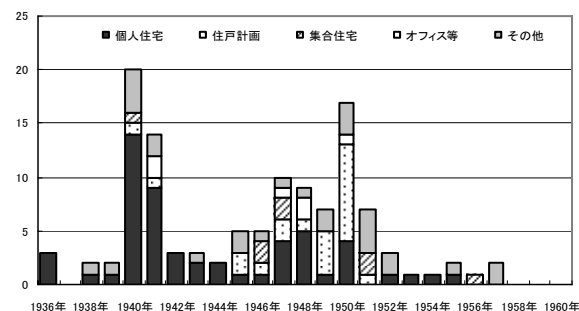


図4 発行年ごとの資料の項目別内容

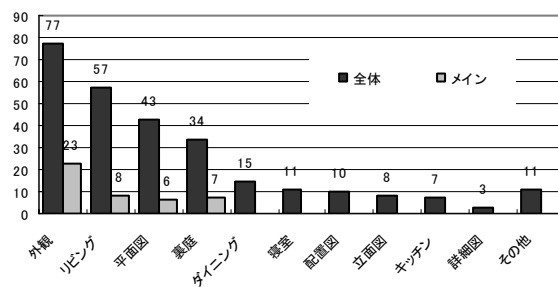


図5 項目別収集資料掲載写真・図